

# 補助金採択におけるアセットマネジメント指針に 基づく中長期計画策定の要件化について

2025年6月18日

経済産業政策局 地域産業基盤整備課

## ④工業用水道事業者による実効性のある計画策定

✓ 以下のとおり更新・耐震・アセットマネジメント指針の改訂を行う。

### (改訂項目①：今後の水需要の見通し)

- ① 将来の既存ユーザーの水需要について実使用ベースの需要推計を実施するとともに、供給区域内外における産業立地の想定を踏まえた新規水需要を含めた、将来の水需要の見込みを示すこと
- ② 上記を踏まえ、現施設の未利用部分（余剰能力）の考え方について示すこと

### (改訂項目②：更新需要見通し)

- ① 時間計画保全の考え方を簡易型、状態監視保全の考え方を標準型とし、簡易型から標準型への移行を推奨
- ② 簡易型・標準型ともに、改訂項目①の今後の水需要の見通しを踏まえて適正な施設規模を検討した上での更新需要の算定を行うこと
- ③ 簡易型・標準型ともに、強靱化事業の目標値及びスケジュールに関する事項を計画に反映すること

### (改訂項目③：財政収支見通し)

- 現行の指針における標準型・詳細型を「標準型」とし、一定条件での仮定ではなく物価上昇や金利上昇等の変動要素を加味した上で、更新需要に対して必要となる投資額について、経営改善に向けた取組としてのコスト削減策及び収益基盤確保策を検討したうえで、サステナブルな事業運営を行うことを可能とする収支バランスを考慮した計画とすること

### (改訂項目④：計画の見直し)

- 10年を目処として、基本計画の実績・進捗及び事業環境変化等を反映させるよう、中長期計画及び次期基本計画において更新需要見通し及び財政収支見通しの見直しを必要に応じて行うこと

- ✓ 工業用水道事業者に対して実効性のある計画の策定を促すべく、工業用水道事業費の申請要件として、再来年度以降の補助事業において、アセットマネジメント指針に基づいた計画の策定を求めることとする。なお、計画策定については一定の期間を要することを考慮し、具体的な時期等については、今後関係者との調整を図っていく。
- ✓ また、更新・耐震・アセットマネジメント指針に基づいた計画の該当可否について確認することができるチェックリストを経済産業省において作成し、公表する。

# 補助金採択におけるアセットマネジメント指針に基づく中長期計画策定の要件化

- 令和8年度予算より、工業用水道事業費の申請にあたっては、アセットマネジメント指針に基づいた中長期計画の策定を要件とする。
- ただし、工業用水道事業者の計画策定にかかる期間も考慮し、令和8年度及び令和9年度予算においては、計画策定中であっても申請を認めることとする。（※1）

（※1）ただし、策定中と回答する工業用水道事業に対しては、令和8年度予算・令和9年度予算において策定に向けた具体的検討等を行っていることを示すことを求める（詳細は以下）

## 工業用水道事業費補助金におけるアセットマネジメント指針に基づいた中長期計画策定の要件化

### 対象事業

- 強靱化事業に申請を行う、すべての工業用水道事業を対象とする。
- ただし、強靱化事業のうち、PPP/PFI導入に向けた補助事業及びダウンサイジング導入に向けた補助事業は要件化の対象事業から除く。（※2）

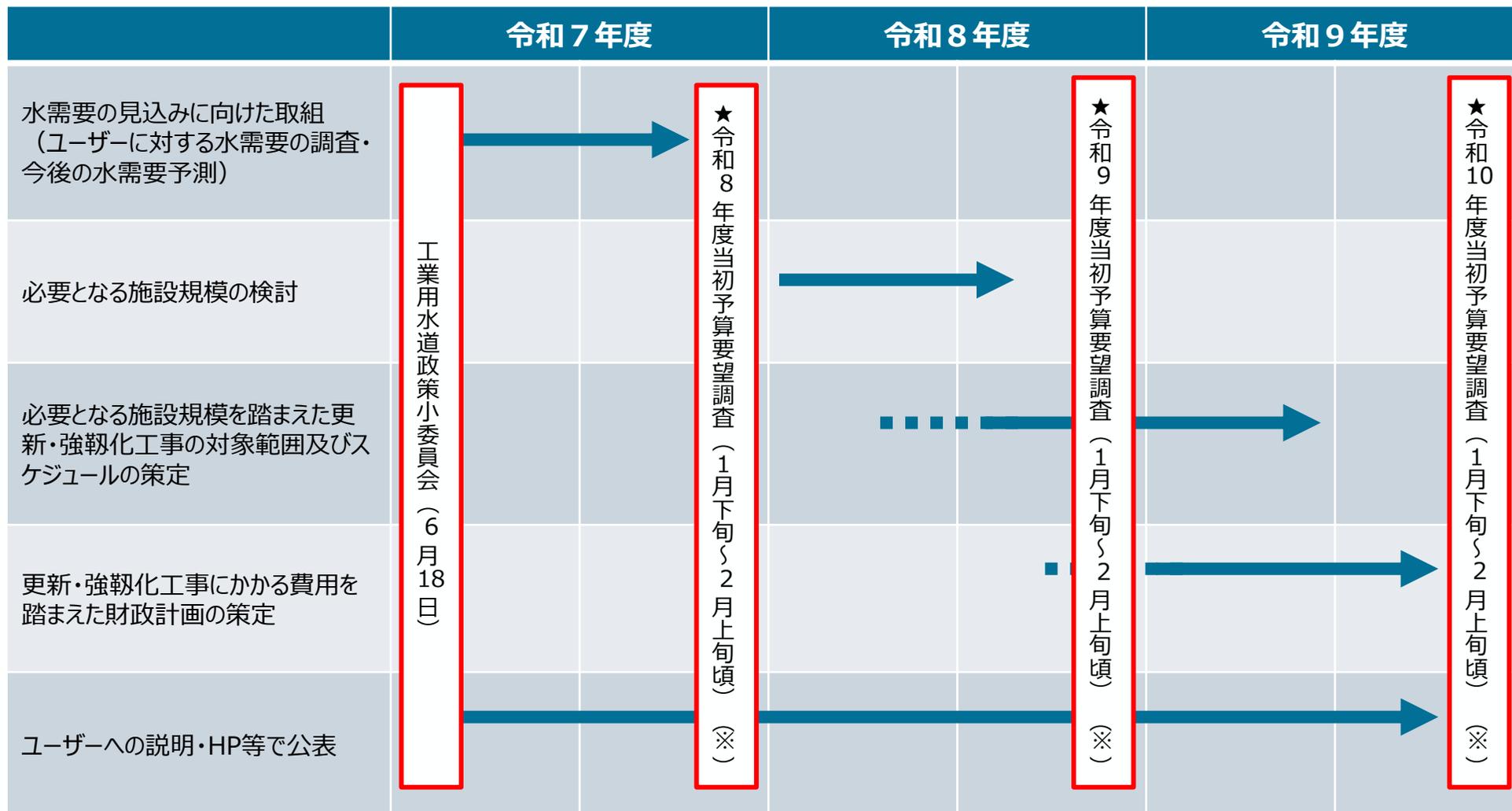
（※2）中長期計画を策定するにあたり導入の可能性を調査する目的の事業であることから、本要件の対象事業から除くものである。

### 要件化の内容

- 補助金採択にあたり、アセットマネジメント指針に基づいた中長期計画の策定を要件とする。
- ただし、令和8年度予算及び令和9年度予算については、計画策定中であっても申請を認めることとするが、策定中と回答した工業用水道事業に対しては、以下のとおり策定に向けた具体的検討等を行っていることを求める。
  - ✓ 令和8年度予算
    - チェックリストにおける、「将来の水需要見込み」を実施済かつ実施結果について提出すること
    - ユーザーに対して「中長期計画の策定」及び「策定スケジュール」について説明を行っていること、もしくは「策定スケジュール」についてHP等で公表を行っていること
  - ✓ 令和9年度予算
    - チェックリストにおける、「施設規模の考え方」について検討済かつ検討結果について提出すること

# アセットマネジメント指針に基づいた計画策定プロセスイメージ

【想定スケジュール（これから計画策定を行う事業者を想定）】



(※) 状況に応じて時期は前後する可能性あり。

# 更新・耐震・アセットマネジメント指針に基づいた計画チェックリスト

## ①水需要の見通し（短期10年、長期30～40年程度）

### （将来の水需要見込み）

- 実使用水量ベース及び契約水量ベースでの推計を行い、既存ユーザーの現在及び将来の水需要及び産業立地の想定を踏まえた新規水需要を含めた将来の水需要を示しているか

### （施設規模の考え方）

- 現在の施設規模と将来の水需要の間に乖離がある場合、現施設の未利用部分（余剰能力）の考え方について示しているか（必要に応じて施設規模の検討を行うものとするが、特に本格的な更新時に施設規模の検討を行う際には、あわせて契約水量の見直しも検討を行うこと）

## ②更新需要の見通し（30～40年程度）

### （期間・全体）

- 更新需要の見通しは30～40年の検討期間となっているか
- 更新にかかる考え方について明記されているか（時間計画保全または状態監視保全）

### （適正規模・性能向上を踏まえた検討）

- 将来の水需要の見通しを踏まえ、適正な施設規模を検討した上での更新需要の算定となっているか
- 既存の施設と同性能ではなく、強靱化等の性能向上を踏まえた更新費用の算定となっているか

### （強靱化）

- 強靱化にかかる目標値（例：耐震化率）の設定及びスケジュールを記載しているか

# 更新・耐震・アセットマネジメント指針に基づいた計画チェックリスト

## ③ 財政収支の見通し（30～40年程度）

### （期間・全体）

- 財政収支の見通しは30～40年の検討期間となっているか
- 指針に基づいた指標（※）を最低限用いたうえで財政収支見通しを作成しているか
- 更新需要で算出した必要投資額を踏まえて、サステナブルな事業運営を可能とする収支バランスの取れた計画となっているか（※）収益的収入、収益的支出、純利益、資本的収入、資本的支出、資金残高、企業債残高を指す

### （変動要素の加味）

- 物価上昇・金利上昇等の変動要素を加味した見通しとなっているか

### （コスト削減策・収益基盤確保策の検討）

- 経営改善の取組としての、コスト削減策及び収益基盤確保策について記載されているか
- 施設規模を見直す際に、契約水量の見直しもあわせて検討を行う場合には、コスト削減策・収益基盤確保策を踏まえたうえで、財政収支の見通しに反映されているか

## ④ 計画の見直し

### （計画の見直し）

- 10年を目処として、基本計画の実績・進捗及び事業環境変化等を反映させるよう、中長期計画及び次期基本計画において更新需要見通し及び財政収支見通しの見直しを必要に応じて行っているか